広報
下之郷
No.142

発行日　２０２３．３．１５
編集　発行　郷づくり広報部会
発行責任者　下之郷区長

＝自然を愛し　人を愛する
豊かな心を　育てよう＝

（２／５　神楽）

目次:

令和５年度区・農業組合役員選挙／きらり下之郷通常総会 令和５年度下之郷老人クラブ役員選挙	1
成人式／勧学祭	2
今年も神楽がやってきた	3
集落運営体制の現状診断（東京農工大分析結果報告）	4
健康コラム／今月のクイズコーナー／懐かしの風景 64	5

私たちの下之郷

2023. 3月1日現在

*世帯数　239世帯
*人口　男　306人
　　女　329人
　　計　635人

令和5年度区・農業組合役員決まる

今年度末で任期を終える区・農業組合評議員の改選及び、令和5年度の区・農業役員の選挙が行われ、次の方々が選出されました。

年々課題が重くなる中、重責を担っていただくことになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【令和5年度区関係役員】

区長　藤堂　悦雄

副区長　辻　幸男

分館長　辻　啓司

副分館長　古川　光彦

区評議員

上野　正人
松宮　勲
辻　幸男
神辺　功
西澤　正
柴崎　昌敬
古川　洋
辻　忠弘
安澤　浩武

【令和5年度農業関係役員】

農業組合長　宿谷　安弘

副農業組合長　上野　忠信

農業　評議員

宿谷　安弘
古川九二男
上野　昭彦
上野　忠信
辻　智昭
藤居　清一
古川　哲
古川　光彦
辻　博士

令和5年度下之郷老人クラブ役員選挙

3月2日(木)、令和5年度の下之郷老人クラブ役員選挙が行われ、会員による投票の結果、次の方々が新役員に就任されることになりました。

会長	上野　正美
副会長	二階堂正雄
会計	阪東佐智男
女性部長	辻　正子
女性副部長	西堀佐喜子

第12期農事組合法人きらり下之郷・下之郷営農組合 通常総会

2月23日(木)、農事組合法人きらり下之郷法人および下之郷営農組合の通常総会が開かれました。

今回の総会において、理事の改選が行われ、組織体制が新理事に移行することとなりました。

【退任】

代表理事　阪東　隆
専務理事　阪東　力
理事　阪東　猶真

【新体制】

代表理事　阪東佐智男
専務理事　松宮　利治
会計理事　藤居　吉也
理事　上野　昭彦　上野　清治
上野　芳樹　宿谷　安弘
川並　重一　西堀　與一
藤居　清一　古川　悟
監事　上野　安徳　阪東　力
顧問　阪東　隆

二十歳のつどい

1月9日、甲良町公民館にて「二十歳のつどい」が開催されました。

今年、当区で、めでたく二十歳を迎えられる方々をご紹介します。

先行き不透明な社会情勢の中、これからの日本を担っていく若者たちに幸多かれと祈ります。

上野　杏月（仁）
上野　透吾（忠信）
川並　大耀（雅彦）
川並　大翔（進）
阪東　侑奈（大祐）

勧学祭

3月5日(日)、桂城神社において勧学祭が行われ、4月から甲良西小学校へ入学する子どもたちが親子で参拝しました。

健やかに、真っ直ぐ育ってくれるよう、宮司様が祝詞奏上された後、一人ひとりが玉串奉奠をしました。

年々少子化傾向になる中、今年度入学する子どもたちは、5人もいてくれ、頼もしい限りです。

【新一年生の子どもたち】

上野　翔真（しょうま）（保・弘　世・悟）
「サッカー選手になりたいです。」

上野　清（しん）（保・清一郎　世・清治）
「勉強とサッカーをがんばります。」

辻　かおる（保・学　世・利郎）
「算数の勉強をがんばります。」

安澤　希音（のの）（保・成善　世・貞次）
「算数の勉強をがんばります。」

辻　悠（はる）（保・優　世・孫太郎）
「サッカーをがんばります。」

＊保・＝保護者　世・＝世帯主

今年も神楽がやってきた

2月5日(日)、恒例の渋谷章社中の神楽が当区にやってきました。午後は雨も上がり、暖かな春の日ざしのもと、総回しが区駐車場で行われ、たくさんの人が集まりました。

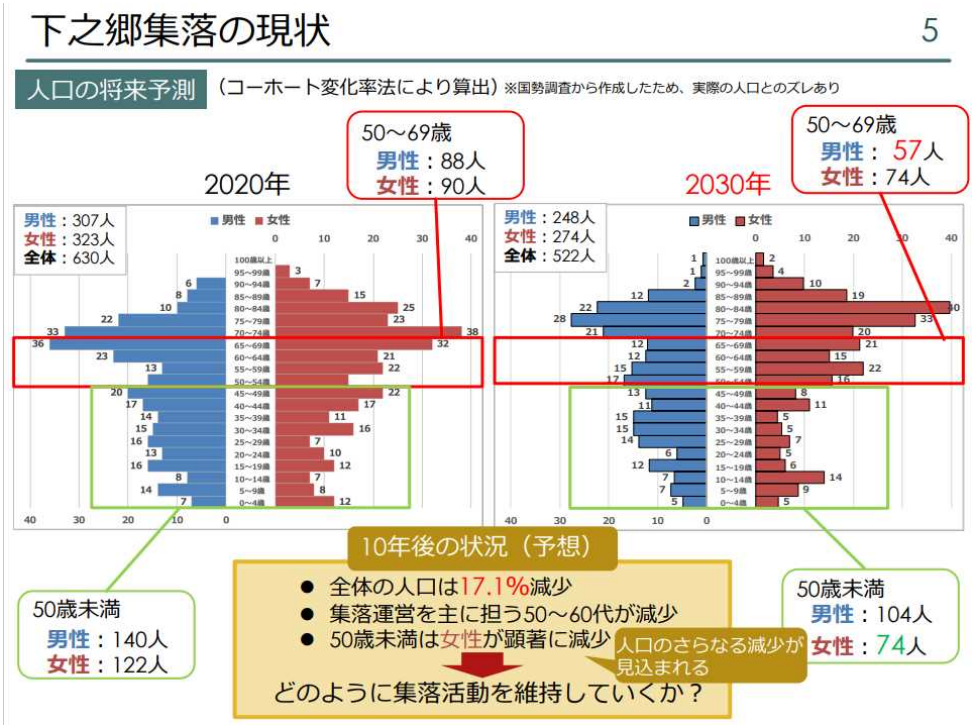
5日早朝7時に桂城神社で奉納舞のあと、一軒々々お祓いに回る門付けは、6日まで二日がかりで行われました。

昔は1月15日が「神楽正月」でした。早朝から神楽が家々を回り、子どもたちは、その後をついて回りました。そして、午後からは桂城神社の境内で「総回し」が行われ、村中の人々が集まって見物したものでした。

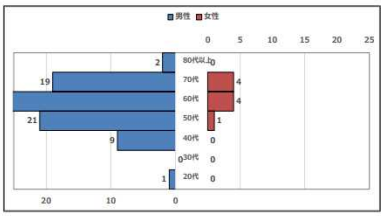
「昭和三十年代湖国暮らしの表情」
《浅岡利三郎写真集より》

集落内組織の関係性からみた集落運営体制の現状診断

令和2～3年度の2年間、東京農工大農村地域計画学研究室の学生が下之郷区の現地調査に入りました。その調査に基づく分析結果報告の会が、3月3日(金)農事集会所にて開かれました。その概要を紹介します。



10年後には、村としての機能を担うべき世代が極端に少なく、現行の各種組織はこのままでは維持不可能になることは明らかです。



地縁組織

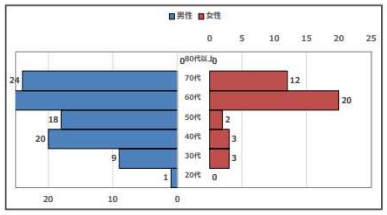
区、農業組合、公民館分館、郷づくり委員会、組、体育推進委員

特徴：60代男性を中心とした同質的集団

若い女性の激減は、この大きな村の中が全く子どものいない老人ばかりの村になってしまうことを意味します。

加えて、コロナ禍により、これまで維持してきた区民をつなぐネットワークそのものが崩壊してしまいました。

そういう危機的な状況であるということを農工大の報告は可視化して示してくれました。



目的組織

自警団、老人会、ひまわり会、健康推進員、環境保全隊、プラン13、きらり下之郷、愛育会、小学校PTA、中学校PTA、人権教育推進協議会、民生児童委員、日赤奉仕団

特徴：多世代・男女からなる集団

コロナ禍ではつながりがなく、それぞれが単独で活動

中心的組織も完全に不在の状態

提言されたのは、「世代間をつなぐ話し合いの場」をつくること。

村を受け継ぐ次世代の者を交え、「この現状で出来ることは何か」を本音で出し合う場が必須だということです。隣の法養寺では、すでに、次世代を交えて、区の行事の見直しを進めているそうです。

今後も、必要に応じて農工大から情報提供はいただけるとのことです。

ぜひ、今回の報告会を契機に、10年後を見据えた議論を具体化していきたいものです。

今月のクイズコーナー

急
洒 □ 丁
成

□に入る漢字は何？

「下之郷検定㉜」

江戸時代、下之郷の戸数は何軒ぐらいだったでしょう？

①約150戸
②約200戸
③約250戸

前回のクイズの答

複雑・雑木・雑貨・粗雑で「雑」
下之郷に水道ができたのは③の戦後のことでした。

正解者

古川　きさ　さん
阪東志奈子　さん
木村　　和　さん

健康コラム

花粉症

花粉症は、花粉が原因でさまざまな症状が生じるアレルギー疾患です。

本来、花粉は害のあるものではありません。しかし、体が花粉を「排除すべき異物」と認識してしまうと、花粉に対する抗体が作られ、異物である花粉を排除しようとしてくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみといったアレルギー症状が生じるのです。

花粉症と風邪の主な違いとして、上表のような傾向があります。

	花粉症	風邪
目の症状の有無	目のかゆみなどの症状が表れることが多い	目の症状は出ない
鼻水の色	白または透明	黄色や緑っぽい色に変化
熱の有無	せいぜい微熱程度	発熱することがある

日常の花粉症対策

◎マスク
吸い込む花粉をおよそ3分の1から6分の1に減らすので効果が期待できる。

◎うがい
うがいは、のどに流れた花粉を除去するのに効果がある。

◎洗顔
花粉が人間に付着しやすいのは頭と顔。帰ってきたら洗顔して花粉を落とすと良い。

◎洋服
表面がすべすべした綿かポリエステルなどの化学繊維のものには花粉が付着しにくい。

◎めがね
目に入る花粉を2分の1から3分の1まで減らすことができる。

◎その他
頭の花粉は、帽子などで避けることが可能。

懐かしの風景 64　昭和48年撮影航空写真

今からちょうど５０年前、昭和48年撮影の航空写真を紹介します。
まだ圃場整備が行われていない時の下之郷および近隣の様子です。御旅所や北池の古い姿が写っています。中学校から南に延びる高野道もそのままです。どこがどう変わったでしょうか？探してみてください。

編集後記

マスク無しで卒業式が行えるようになる等、ようやくコロナ騒動も鎮静化してきました。空白の3年間で失ったものは大きいですが、新しい日常を区民の知恵を集めて創っていきましょう。